

第 221 回複合材料部門委員会 (090710) ビジネスミーティング議題 v3

1. 次期委員長の件
2. JCOM-39 の開催形態について
3. 会誌「材料」連載講座の件
「グリーンコンポジット」をテーマとして 2010.11 から 2011.2 の連載 4 回.
4. 会誌「材料」複合材料小特集号の予定
次回は 2011 年 5 月号 論文投稿締切りは 2010 年 9 月
次々回は 2012 年 5 月号 論文投稿締切りは 2011 年 9 月
5. 出版物
ACCM-6 の基金などを用いて、上記の材料の講座のあと、本にまとめる予定。
平成 23 年に迎える「60 周年記念出版物」として発刊予定。
6. 会誌 60 周年記念号
各部門委員会の関連分野の研究の最近 10 年の動きを会誌 2 ページ程度でまとめる。
7. 支部・部門合同懇談会 (6/25) 報告
新公益法人化に向けての部門委員会の対応依頼。具体的には H22 年度の活動から。
8. 国際交流 (第 3 回日中グリーンコンポ, 10/7-9, 上海, 東華大学)
研究発表締切り 8/7, 参加申し込み締め切り 8/28
9. 第 222 回 (破壊力学シンポジウム) 全申込数 65 件 (うち複合材料セッション 18 件)
10. 第 223 回 (衝撃との合同)
11. 第 59 期総会併設 (札幌) 2010.5.21-23
12. その他

JCOM-39 の開催形態について

1. 問題点の認識
 - 1) 日本全体で複合材料分野の高い学術レベルを維持し、若手研究者の今後を支援するため、全日本で活発な議論がなされる「日本を代表する複合材料の会議」を設立したい。
 - 2) 現状では国内、国際および 2 国間を含め講演会の数が多く、内容を高め適正規模にしたい。
 - 3) 学術分野の成熟 > 研究者の減少
2. これまでの経緯
 - 1) 日本複合材料学会の武田会長(当時)と北條で約 1 年前から、両学会で合計 3 回実施している講演会を春と秋の 2 回に統合し、春の会議を合同で「日本を代表する会議」にできないかについて、相談を開始。本部門委員会側では、幹事会において、日本複合材料学会側では、理事会において議論。
 - 2) 材料学会/部門委員会の立場が生かされるように、これまで/今後とも交渉に努力
 - 3) 両者において、講演会の統合に関しては概ね前向きに進めることで合意(5/18)。
3. 提案する新しい会議
 - 1) 名称 (主題案) 日本複合材料合同会議
Japan Joint Conference on Composite Materials (JCCM)
(副題案) JCOM39/ JSCM2010 細かい点はまだまだ調整が必要。
 - 2) 期日, 形態(合意) 両学会の共同主催, 隔年で関西, 東京どちらも 3 月に開催
 - 3) 実行委員会(合意)
合同会議の実行委員会は両学会で構成。主担当と副担当。
 - 4) 予算(合意) 会計は主担当学会が担当。
 - 5) 賞 複雑な形式は避ける。例えば合同会議より講演賞を出すなど, 要検討
4. お願い
来年 3 月の JCOM(京都)から上記の形態で実施したい。そのためには、8 月中に具体案を固める必要がある。7/10 の部門委員会および 7/15 の日本複合材料学会理事会で最終の詰めをしたい。
総論としての方向性を認め、具体的には実行委員会で決めて行きたい。

特集号の予定

No.	特集号	特集号	特集号	特集号
1	高分子(小)	地盤改良	高分子	地盤改良
2	高温強度	金属ガラス(小)	高温強度	信頼性(小) 分子動(小)
3	金属ガラス(小)	岩力		岩力
4	木質材料(小)	木質材料(小)	木質材料(小)	木質材料(小)
5	複合材料(小)	信頼性(小)	複合材料(小)	極限環境(小) 複合材料(小)
6	極限環境(小) セラミック(小)	セラミック(小)	セラミック(小)	セラミック(小)
7	X線(小)		X線(小)	X線(小)
8	建設材料	分子動(小)	建設材料(小)	
9		半導体(小)	フラクト(小)	半導体(小)
10	マイクロ	混和材料・骨材	マイクロ	混和材料・骨材
11	衝撃(小)		半導体(小)	衝撃(小)
12	疲労	破壊	疲労	破壊(小)

表中の(小)は小特集を意味し、原則上限48ページとなっています。

その他は大特集で原則上限90ページです。

この表は予定であり、ページ数が規定に達しない場合は特集となりません。

特集号への論文投稿は8ヵ月前の10日(必着)が締切(10日が土日祝日の場合は休み明けの日)となっています。

特集号にも一般論文が掲載されています。

日本材料学会 第14回破壊力学シンポジウム

開催日 平成21年10月23日(金), 24日(土)

主催 日本材料学会破壊力学部門委員会
協賛 日本機械学会, 日本金属学会, 日本建築学会, 日本原子力学会, 日本航空宇宙学会, 日本材料強度学会, 日本実験力学学会, 日本船舶海洋工学会, 溶接学会, 日本複合材料学会, 高分子学会, 日本高圧力学学会, 日本セラミックス協会, 日本非破壊検査協会, 日本鉄鋼協会, 日本溶接協会, 安全工学会, 化学工学会, 応用物理学会, 精密工学会, 資源・素材学会, 石油学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 日本塑性加工学会, 土木学会 (予定)

破壊力学は, 周辺学問技術の進歩を取り込むことにより, 基礎理論面においては, 線形問題と非線形問題, 均質材料と不均質材料といった枠を越えた広がりを見せるとともに, 各分野への応用面においても画期的な進歩を遂げ, 材料・機器の健全性の総合的評価体系としての地位を確立しつつあります。破壊力学の広範囲の適用を踏まえた総合討論によって, 破壊力学の一層の発展がもたらされるものと考えられます。

日本材料学会では, 破壊力学部門委員会の企画のもとに, 上記の趣旨により第14回破壊力学シンポジウムを開催することになりました。破壊力学およびその関連分野に関心をお持ちの方や関係される多数の方々の積極的な参加をお待ちしております。なお, 「複合材料の破壊」セッションは材料学会複合材料部門委員会との共同企画です。

期日 平成21年10月23日(金), 24日(土)
会場 大濱信泉記念館
〒907-0004 沖縄県石垣市宇登野城 2-70
TEL 0980-84-1551
http://jaima.net/modules/memorial/index.php?content_id=1
参加費 会員・協賛学協会会員: 8,000円, 非会員: 10,000円, 学生会員: 3,000円, 学生非会員: 5,000円です。いずれも講演論文集を含みます。当日会場にて参加費を申し受け, 講演論文集をお渡しいたします。
懇親会 平成21年10月23日(金) 18:30~20:30(予定)
懇親会は事前予約制を予定しております。詳しくは破壊力学部門委員会ホームページ (<http://fm.jsms.jp>) をご覧下さい。
懇親会費: 一般 6,000円, 学生 3,000円(予定)

プログラム

(講演 15分, 討論 5分)

(座長交渉中)

10月23日(金) 第1会場 多目的ホール

13:10~13:15 開会挨拶

破壊力学部門委員長 東郷敬一郎

[破壊および破壊じん性 1]

13:20~14:40

101. 安定き裂の介在による破壊じん性のばらつきの変移

○田川哲哉(阪大工)

102. 破壊靱性値の板厚効果; Tz-stress による表現の試み
○田中智大(福井大院), 飯井俊行(福井大)

103. 破壊靱性に及ぼす塑性ひずみの影響

○釜谷昌幸(原子力安全システム研究所)

104. 切欠きから発生したき裂の応力拡大係数の簡単評価に関して

○真壁朝敏(琉球大工), 才本明秀(長崎大工)

藤川正毅(琉球大工)

MUHAMMED SOHEL(琉球大院)

[破壊および破壊じん性 2]

14:55~16:15

105. 曲げ試験法によるガス窒化層の割れ強度評価

○加藤昌彦(広島大), 一地利剛志(広島大院)

曙絃之(広島大), 菅田 淳(広島大)

106. モリブデン焼結材における軸肥大加工部の脆性破壊および破損対策の検討

○匹野大輔(愛媛大), 桑原義孝(愛媛大)

朱 霞(愛媛大院), 岡部永年(愛媛大院)

黄木景二(愛媛大院), 生田文昭(ネツレン)

107. 高圧水素ガス中におけるき裂を有する高強度鋼の引張強度のひずみ速度依存性

○井藤賀久岳(産総研), 野口博司(九大工)

108. 水素曝露した未充填およびシリカ充填エチレンプロピレンゴム EPDM のき裂発生限界の破壊力学的検討

○山辺純一郎(九大工), 西村 伸(産総研)

[界面強度]

16:30~17:50

109. 微小切削装置を利用した薄膜付着強度評価

○大宮正毅(慶応大), 西山逸雄(ダイプラ・ウィンテス)

110. はんだBGAボールを用いた微小接合部界面強度評価

○上野明(立命館大)

111. 分子静力学法による異種結晶接合角部の混合モード破壊靱性評価

○池田 徹(京大工), 堀池弘一(京大工)

松本龍介(京大工), 宮崎則幸(京大工)

112. 界面き裂の応力拡大係数及ぼす材料組合せの影響

野田尚昭(九工大), ○張 玉(九工大)

蘭 欣(九工大), 高瀬 康(九工大)

小田和広(徳山高専)

10月23日(金) 第2会場 研修室

[複合材料の破壊 1 -CFRP-]

13:20~14:40

201. 疲労トランスバースクラッキングの確率的 SCG モデルと応力比の効果

○黄木景二(愛媛大), 高橋 学(愛媛大)

矢代茂樹(愛媛大)

202. 一方向 CFRP の引張特性に及ぼす局所的繊維束乱れの影響

○野田淳二(山口大), 任保勝(山口大院)

124. SUJ2 におけるせん断型疲労き裂進展下限界におよぼすき裂面干渉の影響
○庄村直哉(福岡大工), 松永久生(福岡大工)
遠藤正浩(福岡大工)

[金属疲労 - 疲労強度 -]

14:35~15:55

125. 軸肥大加工法による成形された肥大加工部の疲労強度の調査
○西崎泰典(愛媛大), 桑原義孝(愛媛大)
朱霞(愛媛大院), 岡部永年(愛媛大院)
黄木景二(愛媛大院), 生田文昭(ネツレン)
126. 切欠きを有するβ型チタン合金の疲労特性の評価
○武藤昇(上智大), 久森紀之(上智大)
萩原行人(上智大)
127. 球圧子押し込み疲労試験によるセラミック被覆材における薄膜の強度特性評価
高松徹(滋賀県大工), 田邊裕貴(滋賀県大工)
○小島一晃(滋賀県大院), 田島俊宏(シマノ)
128. 疲労限の意味について
○古川勝明(科警研)

[金属疲労 - 継手強度とシミュレーション -]

16:10~17:30

129. 高張力鋼を母材とするスポット溶接継手の疲労き裂進展挙動に及ぼす負荷形式の影響
○種子島亮太(広島大院), 景山敬助(広島大)
宮垣亜希(コベルコ科研), 曙絃之(広島大)
加藤昌彦(広島大), 菅田淳(広島大)
130. Cyclic Deformation Behavior of Friction Stir Welded (FSW) Aluminium Joints
M. Gutensohn (Univ. of Kaiserslautern)
G. Wagner (Univ. of Kaiserslautern)
○D. Eifler (Univ. of Kaiserslautern), 遠藤正浩(福岡大工)
131. シミュレーションを活用した疲労強度予測
○吉川暢宏(東大生研), 村田陽三(元群馬大院)
桑水流理(福井大工), 半谷禎彦(群馬大工)
宇都宮登雄(芝浦工大工)
132. 高周波焼入れによる環状切欠き材の焼割れ解析と破壊力学検討
○井上宏樹(高周波熱錬), 生田文昭(高周波熱錬)
高橋学(愛媛大), 岡部永年(愛媛大学)

17:30~17:35 開会挨拶

破壊力学部門委員長 東郷敬一郎

10月24日(土) 第2会場 研修室

[複合材料の破壊4 - ナノ複合材料 -]

9:00~10:20

213. CNT/天然ゴム複合材料の粘弾性挙動と破壊特性
○江紅霞(信州大院), 夏木俊明(信州大)

214. VGCF による CFRP 複合材積層板の界面機械特性の向上
○胡寧(千葉大工), 李淵(千葉大院)
堀直樹(東北大院), 荒井政大(信州大工)

215. カーボンナノコイル/ジシクロペンタジエン樹脂複合材料の極低温破壊・変形特性
○真田和昭(富山県大), 三加日出男(富山県大院)
進藤裕英(東北大)
216. ナイロン6クレイハイブリット複合材料の疲労破壊に及ぼす温度の影響
○吉瀬誠(福工大院), 朱世杰(福工大)
臼杵有光(豊田中研), 加藤誠(豊田中研)

[複合材料の破壊5

- セラミックス&金属基複合材料, 非破壊検査 -]

10:35~11:55

217. C-C コンポジット切欠き材の疲労挙動に及ぼす繊維方向と応力比の影響
○東久保剛(琉球大院), Anggit Murdani(琉球大院)
藤川正毅(琉球大工), 真壁朝敏(琉球大工)
218. 材料科学技術における拡散現象
○沖野隆久(大分大工), 福田亮治(大分大工)
加藤之裕(大分大工)
219. 層状破壊を活用した超高強度鋼の衝撃特性の向上
木村勇次(物材機構), ○井上忠信(物材機構)
殷福星(物材機構), 津崎兼彰(物材機構)
220. 混合モデルを用いた電気ポテンシャル法による CFRP 積層構造のはく離同定の高精度化
○岩崎篤(群馬大), 轟章(東工大)

[セラミックスの破壊1]

13:00~14:20

221. 低圧鋳造法における突起部を有するセラミックス製ストークの浸漬時の熱応力について
○野田尚昭(九工大工), Hendra(九工大工)
高瀬康(九工大工), 栗文彬(九工大工)
222. YAG レーザによるガラスの初期き裂発生挙動
○宮下幸雄(長岡技科大), 茂木征史(長岡技科大院)
武藤陸治(長岡技科大)
223. 耐熱セラミックコーティングの破壊と残留応力の関係
○大崎徹(福工大院), 朱世杰(福工大)
224. セラミックス接合構造体の破壊強度に及ぼすろう材量の影響
○攝津暢浩(愛媛大院), 高橋学(愛媛大)
岡部永年(愛媛大), 黄木景二(愛媛大)
朱霞(愛媛大)

[セラミックスの破壊2]

14:35~15:55

225. ジルコニア/炭化ケイ素複合材のき裂治癒挙動およびき裂治癒材の強度特性
○須藤駿介(横浜国大院), 北條恵司(小山高専)

2009年??月??日

日本材料学会
複合材料部門委員会
委員各位

日本材料学会
複合材料部門委員会
委員長 北條正樹
担当委員 日下貴之
担当幹事 西藪和明

第223回 複合材料部門委員会のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、下記要領にて第223回複合材料部門委員会を開催いたしたいと存じます。今回は日本材料学会衝撃部門委員会および日本複合材料学会関西支部との共催により、複合材料と衝撃をキーワードに4件のご講演をお願いしております。いずれも興味深い内容のものばかりです。ご多用とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

敬具

記

開催日時: 2009年12月18日(金), 11:30~17:00

開催場所: 日本材料学会, 大会議室(3F)
〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町1-101
Tel: 075-761-5321, Fax: 075-761-5325
<http://www.jsms.jp/>

共催: 日本材料学会衝撃部門委員会, 日本複合材料学会関西支部

ビジネスミーティング(11:30-12:00)

複合材料部門委員長 北條正樹

議題: 未定

休憩(60分)

研究討論会(13:00-14:10)

(1) 講演1(13:00-13:50)

「未定(自動車技術会構造強度部門委員会研究WG関連)」

横山敦士(京都工芸繊維大学)

(2) 講演2(13:50-14:40)

「未定(CFRP材の衝撃損傷同定関連)」

福永久雄(東北大学)

休憩(10分)

(3) 講演3(14:50-15:40)

「ファイバ・ブラッグ・グレーディングセンサによる損傷検出ー動的ひずみ計測から超音波・AEまでー」

津田 浩(産業技術総合研究所)

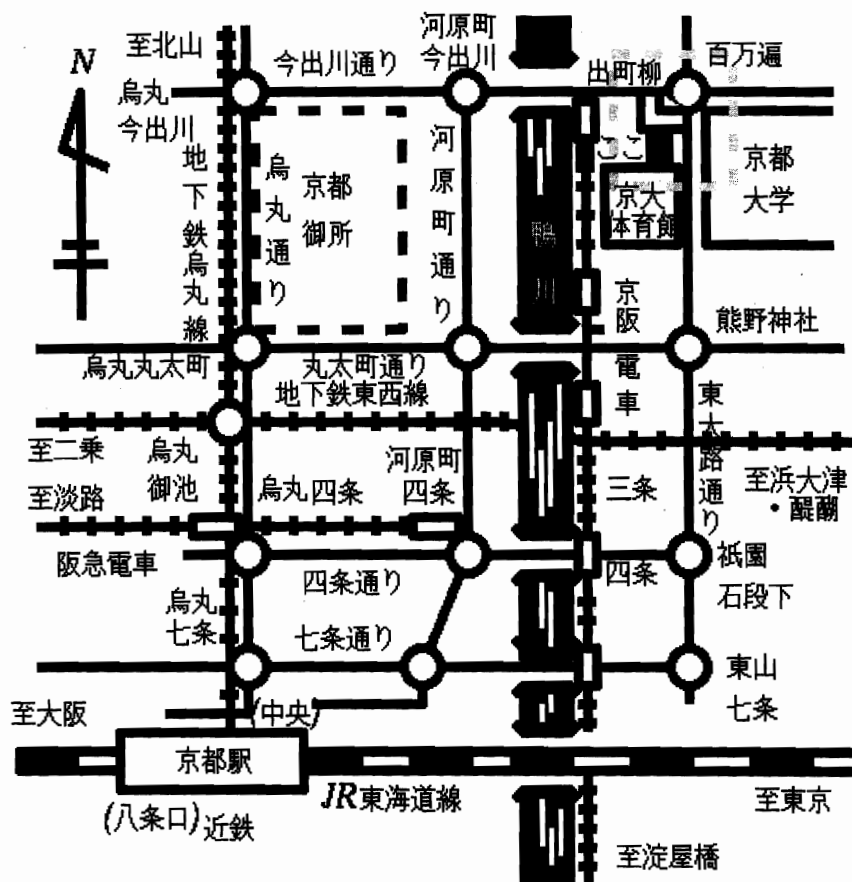
(4) 講演4(15:40-16:30)
「未定(超高速時間分解 X 線回折関連)」

中村一隆(東京工業大学)

以上(敬称略)

【連絡先】

日下貴之(立命館大学・理工学部)
〒525-8577 草津市野路東 1-1-1
Tel: 077-561-3975, Fax: 077-561-2665
E-mail: kusaka@se.ritsume.ac.jp



平成 21 年 4 月 7 日

日本材料学会
複合材料部門委員会各位
グリーンコンポWG
メンバー各位殿

日本材料学会複合材料部門委員会
グリーンコンポWG 主査 竹村 兼一

第15回グリーンコンポWG会合（公開）のご案内

拝 啓

陽春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

第15回グリーンコンポWG会合（公開）を下記の要領で開催させていただきます。今回は、沖縄県宮古島市を訪問し、ラミー農園及びラミー繊維抽出工程の見学を行う予定です。出欠のご回答を次々頁のFax用紙または電子メールにて8月31日（月）までに事務局の大窪先生までご連絡頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

なお、今回の会合は10/23, 24に石垣島で開催される破壊力学シンポジウム（複合材料&破壊力学部門委員会による共同企画講演を募集中）の講演申込時期（締切日 5/29）の都合上、その会告時期に併せてご案内しますことをご了承下さい。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

敬 具

記

日 時：平成 21 年 10 月 22 日（木）15：00～18：00（予定）

場 所：宮古島市 教育委員会生涯学習部 城辺（きべ）公民館（予定）（Tel. 0980-77-4903）

見学内容：ラミー栽培者（下地政子様）の農園および宮古上布用

ラミー繊維抽出の一連の工程

現地連絡先：

宮古島市 教育委員会生涯学習部 城辺公民館

館長 下地 達男様

TEL 0980-77-4903 FAX 0980-77-4227

E-mail tatto-sm@city.miyakojima.lg.jp

スケジュール：別紙のとおり

第15回グリーンコンポWG会合（公開）スケジュール

日時：平成21年10月22日（木）15：00～18：00（予定）

会場：宮古島市 教育委員会生涯学習部 城辺公民館（予定）（Tel. 0980-77-4903）

【集合時間&場所】

集合場所：宮古空港ターミナルビル（14：30に集合）

宮古島へのアクセスは以下のHPをご参照下さい。

（宮古空港フライト情報：www.miyakoap.co.jp/schedule/index.html）

【WG主査挨拶】 15：00～15：05

神奈川大学工学部 竹村兼一

【議事】 15：05～15：15

【見学】 15：20～18：00

ラミー栽培者（下地政子様）の農園および宮古上布用ラミー繊維抽出の一連の工程

沖縄伝統工芸で有名な宮古上布を展示した宮古伝統工芸品研究センター

（<http://www.miyako-net.ne.jp/~m-joofu/>）にも訪問を予定します。このセンターには時間に余裕があれば当日見学を行いますが、時間に余裕の無い場合には翌日（10/23）9：00～9：45程度で見学を実施します。

——懇親会—— 18：00～19：30

場所：宮古島市内周辺

会費：2,000～3,000円程度

問合せ・申込先：日本材料学会複合材料部門委員会グリーンコンポWG事務局

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3 同志社大学工学部機械系学科 大窪 和也 宛

TEL/ FAX：0774-65-6444 E-mail：gcwg@mail.doshisha.ac.jp